

この冬、彼女の歌声に誘われ

星降る天空を泳ぐように旅したいと思いました

真矢ミキ

Risa Junna ^{Winter Iris}

2023年12月12日[火] 開場 18:30 / 開演 19:00

Hakuju Hall 東京都 渋谷区富ヶ谷1-37-5

出演：純名里沙(Vo)、佐藤浩一(Pf)、会田桃子(Vn)、徳澤青弦(Vc) / 笹子重治(Gt)

前売り 7,200円(税込) / 当日券 7,500円(税込) ※全席指定

Ticket 2023年9月30日[土]10:00～

- ・キョードー東京
- ・イープラス
- ・ローソンチケット[Lコード] 71048
- ・チケットぴあ[Pコード] 252-833

お問い合わせ:キョードー東京 0570-550-799 ※オペレータ受付時間 平日11:00～18:00 / 土日祝10:00～18:00

主催:mona*risa_records 制作:モナ☆リサ 衣装協力:オーセンティック銀座 協力:キョードー東京、キョードーファクトリー

リリース記念コンサート
Winter Iris 〈冬の虹〉
ニューアルバム

純名里沙



純名里沙 (Vo)

1990年、宝塚歌劇団に首席で入団。初舞台でフィナーレの先頭歌手、エトワールと言う異例の抜擢を受け、翌年、抜群の歌唱力をかわれてオペレッタ『微笑みの国』で初ヒロインを演じ、ウィーンフォルクスオーパー管弦楽団とウィーンにてレコーディングを果たす。1994年在団中にNHK朝の連続テレビ小説『びあの』に主演、主題歌も歌うなど常に話題を振りまき、花組トップ娘役就任後1996年に退団。その後も数々のテレビ、舞台、映画、ラジオ、CMと幅広いシーンで活躍し、2001年の香港映画『夜間飛行』では、主演、歌唱した歌が、台湾のベスト・オリジナル・フィルムソング賞(金馬奨)を受賞。また、NHK教育テレビ『リトル・チャロ』では声優としてチャロ役を好演、国際放送でも放送されている。歌手としては、日本フィルハーモニー交響楽団、アンサンブル金沢を始めとする各地の代表するオーケストラと共演を重ねると共に、ギタリスト笹子重治氏とのデュオをメインとしたアコースティックライブを2012年より全国展開、様々な空間に対応できる歌唱法を身につけ2枚のアルバムをリリース。2023年、滴を持って自身初のレーベル mona☆risa recordsを立ち上げ、11月11日に初プロデュース作品「Winter Iris」をリリース。現在、13年目となるTOKYO FMの番組『ありがとう、先生!』レギュラー。

公式サイト www.risajunna.com

【純名里沙ファンクラブ新規会員募集中!】

会員の方には、専用サイトの閲覧、チケットの優先販売、ファンミーティング、バースデーメールなどの特典をご用意しています。お申し込み詳細は、純名里沙公式HPをご確認ください。



Risa Junna ^{Winter Iris}

佐藤浩一 (Pf)



1983年生まれ。神奈川県横浜市出身。パークリー音楽大学卒業。ジャズ、即興、室内楽、ポストクラシカル、ポップス、映画音楽など幅広いフィールドで活動。繊細なタッチで研ぎ澄まされた音色を放つピアニストとして、伊藤ゴロー、福盛進也、狭間美帆m_unit、原田知世、象眠舎などに参加。映画「劇場版 ヴァイオレット・エヴァーガーデン」(2020年)、映画「ラーゲリより愛を込めて」(2022年)、TVアニメ「青のオーケストラ」(2023年)の劇中音楽のピアノ演奏を担当。また作曲家としても数多くの楽曲を発表、2021年には全て自らの作曲による2枚組のアルバム『Embryo』をnagaluからリリース。ソロピアノによるDisc1と弦楽カルテットを含むアンサンブルによるDisc2からなるこの作品で、唯一無二のピアニズムと作曲家/編曲家としての魅力を存分に発揮。編曲家としても多くのシンガーのアレンジを手掛ける。

公式サイト koichisato.com

徳澤青弦 (Vc)



東京出身。チェリスト・作曲・編曲家。多くのアーティストから信頼を受け、チェロ演奏のほかプロデュース、ディレクション、アレンジ、オーケストレーションまで手掛けている。anonymassで4枚のアルバム、小林賢太郎演出作品サントラ集を6枚リリース。2009年よりさだまさしツアーバンドに加わる。そのほかトウヤママケオとのデュオThrowing a Spoonや、林正樹とのデュオでアルバムリリース。映画『君の名は。』『天気の子』オーケストレーション。NHK Eテレ「ムジカ・ピッコリーノ」ゴージュ役で出演。YouTube配信企画「With ensemble」音楽監督。

公式サイト [twitter @seigentokuzawa](https://twitter.com/seigentokuzawa)

会田桃子 (Vn)



3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園大学音楽学部卒業。在学中よりアルゼンチンタンゴに興味を持ち、バンドネオン奏者小松亮太氏のバンドでタンゴの演奏を始める。卒業後は小松氏のバンドで国内外のコンサートで活躍。その後度々本場ブエノスアイレスを訪れ研鑽を積んだ。現在、アルゼンチンタンゴプレーヤーとしての活動を軸に、ジャズ、ポップス、シャンソン、クラシックなど、様々な音楽シーンでソロバイオリニストとして活躍しており、即興演奏にも定評がある。また、自身主催の舞台では、ヴォーカルは会田が務め、歌手としても活動中。作編曲家としても活動しており、アーティストへの楽曲提供などもする中、近年は演劇作品への参加も増えており、役者として、又劇中音楽作家としても活動の場も広がっている。

公式サイト aidamomoko.com/about

笹子重治 (Gt)



神戸市生まれ。来日ブラジル人をサポートした後、ブラジルで活動。「ショーロクラブ」「コーコーヤ」のリーダーとして約30枚のアルバムを発表。プロデュースやサポート、レコーディング、アレンジ等で活躍中。2021年に自己のインスト作品集「Plataforma」を発表。22年3月にコーコーヤ4作目のオリジナル作品集「taste」を発表。7月に、沖縄音楽リスペクトの新ユニット「ジュス」を立ち上げ、新譜「サガリバナ」を発表。今年9月にショーロクラブ26枚目のアルバム「Caleidoscópico」発表。自己認識としては、「ギター演奏家」というより、「自らの演奏をベーシックに据えたサウンドオーガナイザー」と考えている。純名里沙とのコラボは11年に及び、その間2枚のアルバム「silent love」「う・た・が・た・り」をプロデュース。

公式サイト www.sasa-g.com